

柏崎総合医療センターに新たに 6 人の臨床研修医が着任しました

令和 7（2025）年 4 月から柏崎総合医療センターに新たに 6 人の臨床研修医が着任しました。柏崎総合医療センターでは、現在 12 人の臨床研修医が日々、医療現場の最前線で活躍し、本市の地域医療の堅持に貢献いただいています。

1 柏崎総合医療センターの研修医受け入れ

令和 4（2022）年度の 6 年ぶりとなる臨床研修医 2 人の着任をきっかけに、令和 5（2023）年度に 3 人、令和 6（2024）年度に 7 人が着任しています。本年度も柏崎総合医療センターでの研修を希望した 6 人が今月から新たに着任し、現在は 12 人で研修に励んでいます（このほか、令和 8（2026）年度から着任予定の「たすきがけプログラム（※1）」活用者が 1 人）。

※1：新潟県が令和 5（2023）年度臨床研修医から新たに創設したプログラム。臨床研修期間の 1 年目を県外の連携病院で、2 年目を県内の病院で研修を行う。

2 臨床研修医確保の取り組み

医師不足が深刻な新潟県で、将来の医師不足の改善に向けて医学生や研修医の確保に取り組んでいます。この支援策の一つとして、令和 3（2021）年度に柏崎総合医療センターと新潟県・柏崎市が連携し、臨床研修期間中に実施するオンラインを基本とした海外留学や国内研修を支援する制度を創設しました。

これは、臨床研修期間中にハーバード大学などの海外大学院で公衆衛生学士（MHP）の学位を取得するなど、自己研鑽のための留学や研修経費に対して補助支援する制度です。

令和 5（2023）年度に着任し、3 月に研修を修了した医師 1 人と、今年度着任した研修医のうち 1 人が、今年度に海外留学を実施します。



臨床研修医による小学生向けの医師講話



臨床研修医の研修現場